

研究課題名	顎骨再建における Computer Assisted Surgery の有用性の検討
研究期間	実施許可日 ～ 2029年3月31日
研究の対象	2017年4月1日～2028年3月31日の間に、広島大学病院 顎・口腔外科にて金属プレートをを用い顎骨再建を行った患者さん
研究の目的・方法	研究目的：顎骨の再建における従来の再建法とコンピュータ支援手術（Computer assisted surgery: CAS）を用いた再建法を比較検討し、CASの長所・短所を明らかとすることで、患者さんに適した再建方法の選択に役立つと期待されます。 研究の方法：本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。
研究に用いる試料・情報の種類	カルテから使用する内容は性別、年齢、既往歴、現病歴、病名、病期、臨床所見、治療経過（治療内容、治療方法、合併症）、検査結果（画像所見、画像読影報告書、血液検査）です。 得られた情報を用いて各再建方法の長所・短所、特性を比較検討します。取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。
外部への試料・情報の提供	広島大学の単独研究のため、本研究で外部への提供は行いません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日(2023年7月12日)以降
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科口腔腫瘍制御学 教授 柳本 惣市
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

TEL : 082-257-5667

広島大学大学院医系科学研究科口腔腫瘍制御学

教授 柳本 惣市

助教 大林 史誠